

会 議 録

会議名称	令和2年度第1回能代市活力ある高齢化推進委員会
開催日時	令和2年7月9日(木) 午後6時30分～
開催場所	能代市役所 会議室9・10
出席委員	織田尚明 (一社)能代市山本郡医師会(委員長) 安部美恵子 学識経験者(副委員長) 小林一成 能代市老人クラブ連合会 芦名早苗 能代市連合婦人会 渡邊耕佑 能代市自治会連合協議会 小林寛 能代ボランティア連絡協議会 松田進 秋田県北地区介護支援専門員協会 鈴木弘哉 山本地域振興局福祉環境部次長兼企画福祉課長 横山知彦 能代市山本郡歯科医師会 田口和義 能代山本薬剤師会 土崎博之 能代市民生委員児童委員協議会 芳賀郁子 能代市社会福祉協議会 佐藤ひとみ 看護協会能代・山本地区支部
事務局	佐藤和孝 市民福祉部 部長 西村康徳 長寿いきがい課 課長 桜田千穂子 市民福祉課 課長 野呂田則子 長寿いきがい課 参事 高杉富喜子 長寿いきがい課 参事 銭谷進 長寿いきがい課 課長補佐 大山恵美 長寿いきがい課介護保険係 係長 市川甲太郎 長寿いきがい課介護保険係 主席主査 小沼尚平 長寿いきがい課長寿社会係 主事
次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 報告事項 (1) 能代市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 令和元年度事業評価について (2) 能代市地域包括支援センター 令和元年度事業実績について 4 その他 (1) 第8期計画策定スケジュールについて 5 閉会
配布資料	報告事項1 能代市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 令和元年度事業評価 報告事項2 能代市地域包括支援センター令和元年度事業実績 その他資料 第8期計画策定スケジュール(案)

報告事項（１） 能代市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画
令和元年度事業評価について

	I 高齢者の積極的な社会参加について（資料P2～3）
委員	老人クラブの数も減り、入る人も減少してくのはなぜか、代わるものとしては何があるか。「俺は老人でないから、老人クラブに入らない」という人が多い。新しい意見を持った高齢者たちが増えてきていることも考えて進めていかなければならない。
委員	老人クラブという存在はこのままの組織でいいのか、新しい組織にしていくような発想の転換が必要。
委員	老人クラブそのものに問題あるのではなく、社会問題であり、今、老人クラブがなぜ高齢化しているのかというと、65歳、70歳まで仕事をできるようになり、みんな仕事をしていて若い人が入ってこないからである。 老人クラブは、年齢に合わせた事業を行い、会員が負担を感じるような事業は行わない。80歳になったら80歳に合うような事業を行う。だから、今、会に参加している方は大変面白いと満足している。みんなが楽しいことをやればよいという方向で行っている。
	III①介護予防等の推進について（資料P6～7）
委員	介護予防等の推進の自己評価結果のところ、介護予防教室の出前開催を具体的に各包括で、どこに出前に行っていて何回行っているか教えてほしい。
事務局	具体的な人数や回数については、後日提供する。 (介護予防教室の出前開催について、追加資料参照)
委員	介護予防教室、通いの場の男性の参加率が低いことから、男性の参加率を上げることが課題。来期の介護保険計画に向けて、男性の参加率を高める工夫があれば教えてほしい。
事務局	男性参加者が増えるように事業内容を充実させたい。先進事例を参考に、8期計画に盛り込んでいきたいと考えている。
	III②介護予防等の推進について（資料P8～9）
委員	青空デイサービスをもっと拡大し、高齢者を大勢集めて一生懸命働き、対価を与えるとすれば地域の経済へ貢献できて、自分も良い思いができる。そういう取り組みがあっても面白いと考える。
委員	高齢者にボランティアを求めるのではなく、対価が発生するようなものがあるのもいいと思うし、取り入れてほしい。
	VI 施設介護サービスの基盤整備について（資料P14～15）

委員	海潮園に代わる特養整備について、「多床室」と「ユニット」の混合型とあったが、「ユニット」について教えてほしい。
事務局	多床室は4人部屋で共有する居室である。ユニット型とは個室と共用スペースからなる居室で、家庭的な雰囲気のものとなる。計画では、1フロアに多床室とユニットで組み合わせられている。
委員	特養に保育園新設など具体的に進んでいて、今後、順調に進んでいくことを願っている。
委員	計画された通りに特養ができるのか、また、経営していけるのか心配している。
委員	しっかりチェックしてやっていけばいい。
委員	能代駅の裏に6階建てのビルができるというのはすごいこと。実現すれば駅前がにぎやかになって大変いい。なんとかそのような方向で進んでほしいということで注目している。
委員	海潮園に代わる新たな特別養護老人ホームの建替で選定された業者について、撤退した事業者の情報があれば教えていただきたい。
事務局	事業者が撤退したことについては、運営の方針の違いがあったということ以外に情報は無い。
	VII 施設介護サービスの質的向上（資料P16～17）
委員	介護従事者の人材確保の課題と対応策として、県との連携のほか、市独自の取組があげられているが、こういうものを多く取り入れて頑張ってもらいたい。また、市の他部局との連携について検討するとあるが、この横断的な発想が大切である。例えば、健康指導となれば健康づくり課、生涯学習課、医師会等との連携をうまくやれば、色々なスポーツ大会でもたくさんの人が来てくれると思う。
委員	人材を確保するという面で、高校生、中学生など若い世代へのアナウンスがあってもいいと思う。人材を発掘するという意識でやってほしい。
	意見
委員	コロナウイルスの感染予防のため、令和2年に入り事業が開催できなかったとあったが、これから開催する事業内容や暮らし自体も新しいものを考えていかなければいけない。 みんなで意見、知恵を出し合いながらやっていく工夫が求められる。
委員	地域福祉計画が出されて、キーポイントとして「丸ごと」と「我が事」が述べられていたが、まさしく丸ごと何から何まで面倒を見てくれるということで評価できる。これから高齢者が増えてきて、お互いが支え合わなければならない。

	<p>実際に住んでいる我々自身がどう支え合っていくかという観点が必要。これからは「我が事」ということをどのように取り組んでいくかが大切。</p>
--	--

**報告事項（２） 能代市地域包括支援センター
令和元年度事業実績について**

委員	<p>地域包括支援センターについて、市の委託事業であるが、適切に事業費が支出されているか、注意を向ける必要があると考える。</p>
委員	<p>資料P31 ページについて、虐待が89件とのことであるが、どのようなものか。</p>
事務局	<p>生活している中で近所の方から大声がする、身なりが汚れているなどのほか、金銭的な問題等の話が寄せられている。</p>

その他（１） 第8期計画策定スケジュール（案）について

委員	<p>コロナの影響もあり、従来の計画では、今後成り立たないのではないかと懸念される。このような状況下、国、県から事業の取組方への示唆はあるか。</p>
事務局	<p>現時点ではまだであるが、令和2年3月の全国担当課長会議で、8期計画の概要は示された。詳細については、今後、示される予定である。</p>